

企業短期経済観測調査（道北[※]地域分）
（調査対象企業数：道北[※]38社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
()内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2023/3月	6月	9月	12月	2024/3月	6月	2024/9月 までの予測
業況判断 < 良い - 悪い >	2	8	5	3	6	(-5) 11	2
うち製造業	13	12	25	0	13	(12) 13	25
非製造業	0	6	0	3	3	(-10) 10	-3
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	-18	-12	-18	-16	-11	(-13) -6	-6
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	3	3	4	14	4	0	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	-2	-2	0	0	0	(-5) 0	-2
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	-45	-48	-42	-47	-45	(-61) -50	-61
資金繰り < 楽である - 苦しい >	12	18	15	16	13	15	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	17	17	20	20	29	23	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	6	3	0	3	6	(21) 29	32
販売価格 < 上昇 - 下落 >	30	27	18	13	18	(32) 31	40
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	60	55	50	50	63	(61) 58	61

(注) 2024/3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

(事業計画)

全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

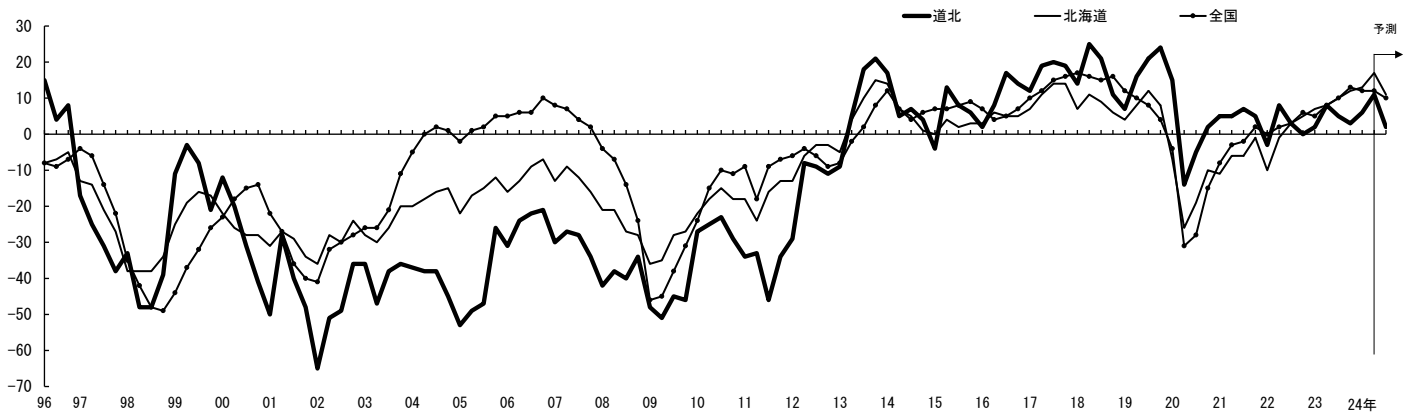
	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画			
			上期		下期	
売上高	5.8	-0.2 < 2.7 >	-5.6 < -1.3 >	-2.5 < -1.4 >	-8.2 < -1.3 >	
経常利益	-20.3	3.3 < 20.9 >	-4.1 < 27.1 >	-34.4 < -13.8 >	24.6 < 66.2 >	
当期純利益	-28.3	22.9 < 16.1 >	5.6 < 40.2 >	-40.4 < -16.4 >	57.9 < 97.8 >	
設備投資額	14.1	43.1 < 0.1 >	-9.9 < 14.7 >			

(注) 2023年度以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

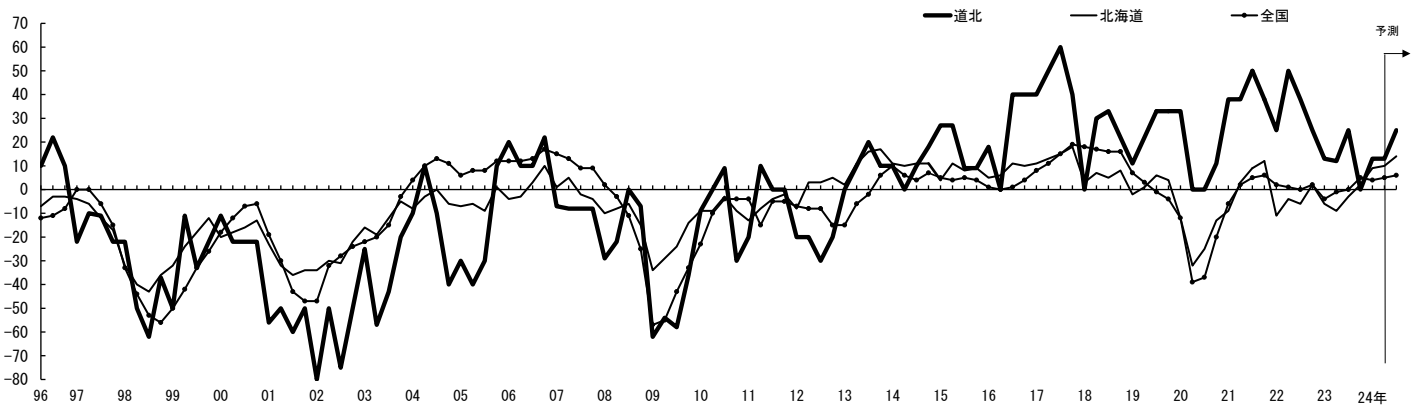
2023年度の前回調査比修正率は、調査対象企業見直し後の再集計値との比較。

2024年6月短観・調査結果

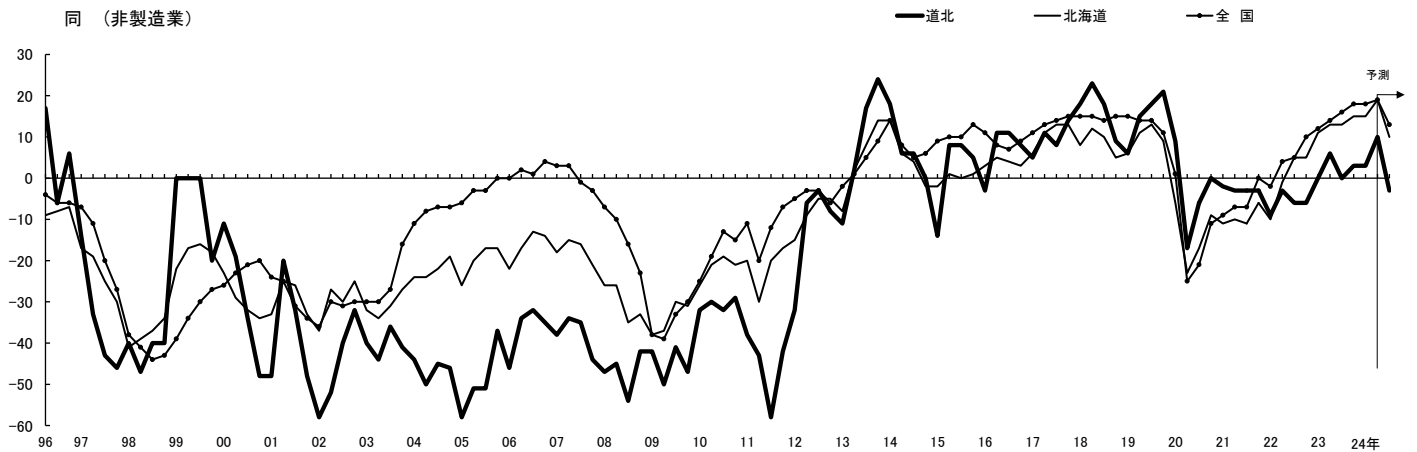
業況判断D. I. (「良い」－「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2024年6月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 38 社（製造業 8 社、非製造業 30 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 38 社）
- 回答期間：2024年5月29日～6月28日

1. 業況判断 DI

- 6月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+11 となり、前回3月調査に比べて改善した（前回+6、前回比+5）。
 - 製造業の業況判断 DI は、+13 と前回調査比不変となった（同+13、同0）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+10 と前回調査比改善した（同+3、同+7）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、+2 との予測（6月実績+11⇒9月までの予測+2）。
 - 製造業は改善（同+13⇒+25）を見込む一方、非製造業は悪化（同+10⇒-3）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI<需要超過－供給超過>」（前回調査-11⇒今回調査-6）は、供給超過幅が縮小した。
- 「製商品在庫水準判断 DI<過大－不足>」（同+4⇒0）は、過大超が解消した。
- 「生産・営業用設備判断 DI<過剰－不足>」（同0⇒0）は、不変。
- 「雇人員判断 DI<過剰－不足>」（同-45⇒-50）は、不足超幅が拡大した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI<楽である－苦しい>」（同+13⇒+15）は、楽である超幅が拡大した。「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い－厳しい>」（同+29⇒+23）は、緩い超幅が縮小したほか、「借入金利水準判断 DI<上昇－低下>」（同+6⇒+29）は、上昇超幅が拡大した。
- 「仕入価格判断 DI<上昇－下落>」（同+63⇒+58）は、上昇超幅が縮小した一方、「販売価格判断 DI<上昇－下落>」（同+18⇒+31）は、上昇超幅が拡大した。

3. 事業計画

- 2023 年度の実績は、売上高は前年度比 -0.2% 、経常利益は同 $+3.3\%$ 、当期純利益は同 $+22.9\%$ 、設備投資額は同 $+43.1\%$ となった。前回調査と比較すると、いずれも上方修正された。
- 2024 年度の計画は、売上高は前年度比 -5.6% 、経常利益は同 -4.1% 、当期純利益は同 $+5.6\%$ 、設備投資額は同 -9.9% となっている。売上高は下方修正されたが、経常利益、当期純利益、設備投資額は上方修正された。

以 上